

プログラム	NEXT 産業創造	必修・選択	必修	単位	—	学期	夏期
科目群	基礎科目	科目名	AI からビジネスへ			教員名	西田豊明/加藤好雄
		(英文表記)	From AI to Business				

概要	AI 技術は今日のビジネスにおいて欠かせない要素となった。現在の AI は大きなポテンシャルを持つ一方で、不完全であることに起因するリスクも大きい。この講義では、生成 AI を使ったアプリ開発とビジネスモデル開発の実践を通して、AI からビジネスへの道すじをたどる。			
目的・狙い	AI の基本原理とその活用方法、起業とコミュニケーションの重要性、生成 AI の実践面を理解し、それらを組み合わせてビジネスに活用する能力を育むことを目的とする。			
前提知識 (履修条件)	演習で、SlackとClaude、ChatGPTとNotionを使用する。			
到達目標	上位到達目標			
	生成AIを使った2つの演習を通して起業につなげる道筋が具体的にイメージできる。			
	最低到達目標			
	生成 AI によるアプリ開発とビジネスモデル開発がどのようなものか理解できる。			
授業の形態	形態		実施	特徴・留意点
	録画・オンライン授業		○	基本コンセプトの講述、実習、グループワーク。
	授業形態	講義（双方向）		
		実習・演習（個人）		
		実習・演習（グループ）		
	サテライト開講授業		-	
	その他		-	
授業外の学習	授業開始までにガイダンスに従って事前に演習のための情報環境を構築しておく。前半については、Claude、Anaconda、Pythonanywhere。後半については、ChatGPTとNotion。			
授業の内容	AI～生成AIに至る発展の道筋をたどる。前半では、実習をするための基本知識として、生成AIの活用法、クラウドを使ったアプリ開発、実習の構図を学んだあと、実習を通して実践知の統合を図る。後半では、生成AIを使ったブレインストーミングやデータ収集、ビジネスモデルの検討を段階的に実践する。			
授業の計画	回数	内容		
	第 1 回	AI から生成 AI への発展の歴史。生成 AI 活用の枠組み。生成 AI を用いたアプリ構築の基礎。Python の活用法。		
	第 2 回	Web アプリの基礎。リレーショナルデータベース。Markdown 記法。		
	第 3 回	生成 AI による業務用アプリの構築実習（インタラクティブセッション）。		
	第 4 回	生成 AI による業務用アプリの構築実習の成果発表。総合討論による深化。		
	第 5 回	生成 AI を活用した情報収集・プレスト・ビジネスプランの設計。Notion によるチームでの情報共有と進行管理の基本を学ぶ。		
	第 6 回	Notion での進行管理を可視化しながら、ピッチ資料のドラフトを作成。プランの実行可能性と説得力を高める方法を探る。		
	第 7 回	調査・分析結果を踏まえたビジネスプランの中間発表。フィードバック後にブラッシュアップを行う。		
	第 8 回	最終的なビジネスプランのプレゼンテーションと討論。短期集中で得た知見を総括、成果を共有する。		
教科書・教材	西田豊明. AIが会話できないのはなぜか, 晶文社, 2022.			
参考図書				
成績評価	成果発表(100%)、3 回以上の欠席は認めない。			